

**実績報告 別記第2号様式 別紙2の
テーマごとに作成してください。**

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

幼稚園番号	2101416
園名	さかえ幼稚園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

動物の飼育

<テーマの設定理由>

本園では動物の飼育を長年続けており、多くの動物とともに過ごしてきた歴史と経験があります。子どもたちは日常的に動物と触れ合うことを楽しんでおり、命の大切さや思いやりの心を育む貴重な機会となっています。この特色を活かし、より深い学びにつなげるため、本テーマを設定しました。

2. 活動スケジュール

常に園内に動物がいる環境の為、子どもたちは日常的に動物と関わりを持ち、観察を重ねている。

また、毎週水曜日に「ふれあい動物園」というコーナーを設け、子どもたちが普段よりも深く動物と関わる時間も設けている。

3. 探究活動の実践

<活動の内容>

・活動のために準備した素材や道具、環境の設定

園で飼育している動物：

<哺乳類>犬1頭（ラブラドルレトリバー）、猫3匹、モルモット2匹、ウサギ1羽

<鳥類>エミュー4頭、鶏2羽、烏骨鶏3羽、チャボ2羽

<爬虫類>ケヅメリクガメ2頭、ミシシippアカミミガメ5匹、クサガメ6匹

<両生類>ウーパールーパー、アズマヒキガエル

<魚類、甲殻類>熱帯魚、川魚、サワガニ、ザリガニ等多数

<昆虫類>クワガタムシ、カブトムシ等

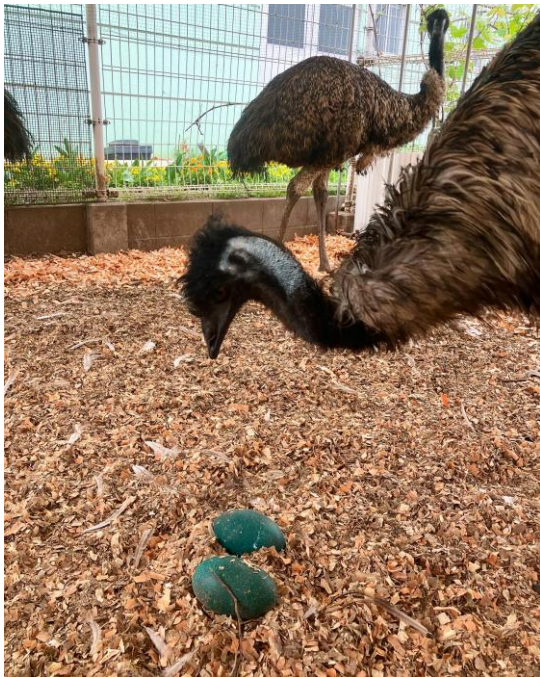
・活動中の子供の姿・声、子供同士や教諭との関わり 等を記載ください

活動では、園で飼育している様々な動物との触れ合いを通じて、子どもたちは命の大切さや関わり方を体験的に学んだ。うさぎやモルモットとの触れ合い、犬のブラッシング、カメを洗うといった日常的な関わりのほか、餌やりや小屋の掃除にも積極的に取り組む姿が見られ、飼育に対する責任感や思いやりの心が育まれていた。

また、近くの川で自分たちの手で捕まえた魚やエビを園内で飼育しており、子どもたちは捕獲から飼育まで一貫して関わることで、生き物への関心と自然への理解を深めていた。こうした体験は、身近な自然とのつながりを実感し、命の重みを感じる貴重な学びとなっている。

加えて、エミューの卵や鶏卵を調理し試食する活動も行い、食と命のつながりについて考える機会を設けた。普段目にすることの少ないエミューの卵に触れたことで、子どもたちは大きな関心を示し、命を「いただく」意味について感じ取る様子が見られた。

教諭は、動物が好きな子どもにはできる限り自由に関わらせ、興味関心を尊重した。一方で、動物に苦手意識のある子どもに対しては、無理をさせず少しずつ声をかけたり、そばで一緒に関わったりすることで、安心して活動に参加できるよう丁寧に対応した。



4.振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

飼育活動を通して、子どもたちの持つ視点の多様さや自由な発想に改めて気づかされた。同じ動物に対しても興味を持つ部分や関わり方が一人ひとり異なり、その違いが関わりの深さを生んでいた。また、小さなきっかけを機に急激に成長を見せる姿や、好きなことに向ける集中力には大きな可能性を感じた。動物の微細な変化にも気づく鋭い観察力や、命に対する繊細なまなざしも印象的であり、子どもたちの豊かな感性と学びの力を再認識する機会となった。今後は、こうした子どもたちの気づきをより深め、発展させていけるような環境や仕組みづくりを意識的に行っていきたい。